

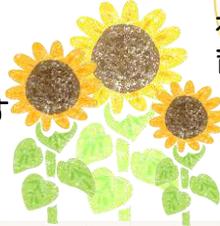
支援プログラム

□法人理念

一人一人の可能性に気づき
その可能性をさらに伸ばす
サポートを行います

一人が光輝けば
周りも光り輝くと
信じています

私たちは、
知恵を出し合い
常に多くの方に貢献
できるよう努力します



社会性を
育む

余暇活動の
広がり

□ぱわふる支援方針

ADL（日常生活動作）
の向上

■本人支援

健康・生活

- ・体温確認（体調の確認）
- ・平日と休日それぞれのスケジュールの提示（環境設定）
- ・生活のルールやクッキングイベントによる、生活スキルの向上

運動・感覚

- ・ラジオ体操やボール遊び等による動作改善及び習得
- ・イヤーマフなどの活用により、感覚過敏の傾向への配慮
- ・スラッグラインやスライム、砂など様々な素材に触れ、感覚の違いを楽しむ活動の実施

認知・行動

- ・『チャレンジボックス』
自立課題による色・形・数・金銭・時間などの概念の習得
- ・ブロック療育による空間把握の向上
- ・家庭や学校などへの般化・個々の特性に合わせた柔軟性へのサポート

言語・コミュニケーション

- ・体験や感情の代弁を行い、言語の習得及び受容・表出へのサポート
- ・本人に合わせたやりとりの支援（言語/絵カードの使用/ボディランゲージなど）
- ・活動スタート時、子どもたち同士でルールを説明、確認する場を設け意思の伝達の支援

人間関係・社会性

- ・ダンスや遊びを通して動きを模倣し、社会性や対人関係の芽生えの支援
- ・一人遊びから協同遊びを通して社会性の発達を支援
- ・活動時の最初にはルールを確認し、
個々に配慮したレベル感の中で集団活動に参加できるようサポート
- ・自分自身の行動や気持ちに気づき、安定した関係を形成できるようサポート

□その他 心理師による「箱庭療法」「WISC-IV」など専門的療法からアセスメントの実施。
療法の実施後には家族への相談支援及び職員への情報共有を行い、個々に合わせた支援の見直しを行う

■家族支援

- 家族の子育てやきょうだいなど、困りごとに対する相談援助
- 家族のレスパイト時間確保や、就労等による預かりニーズに対応するための延長支援の提供。
- こどもの発達状況や特性の理解に向けた、ペアレント・トレーニングの実施

■移行支援

- 地域のイベントへの参加や公共施設へのお出かけなど地域と関わる機会を提供。
- 移行先との支援方針・支援内容の共有やこどもの状態・親の意向・支援方法についての伝達
- 進路や移行先の選択についての本人や家族への相談援助

■地域支援 ・地域連携

- 学校・相談支援事業所・その他関係機関との情報共有を行い、関係機関との密な連携を図る。
- 個別ケース検討のため会議の開催・その会への参加

- その他 ・職員は、定期的に研修へ参加することで知識や技術の向上に努めています。
また、安全な送迎のための安全運転講習、健康増進に向けた取り組みも行います。
・複数の事業所を利用される場合には、事業所間での情報共有を行います。
・就労支援事業所B型Styleとの合同イベントを企画し、交流を図ります。
・休日などのイベントを企画する中で、非常時に備えた避難・通報訓練を年2回実施しています。